

3Rのための取組について

地方独立行政法人大阪市博物館機構
令和2年2月1日 制定

リサイクルさえすれば資源を有効活用できたということではない。ごみの処理やリサイクルには膨大なエネルギーや費用がかかるため、まずはごみを減らすことが大切である。

ごみを減らすための「R」で始まる3つの取り組みを本法人として推進する。

1 Reduce (リデュース) : 発生抑制

■ごみを減らす

- ・食料品はメニューの計画を立てて、余分な物は買わないようにする。
- ・買い物袋を持参し、余分なレジ袋や過剰な包装を断る。
- ・詰め替え品を利用して容器ごみを減らす。
- ・使い捨て商品はなるべく買わない。
- ・一時期しか使わない物はレンタル利用等を行う。

2 Reuse (リユース) : 再使用

■そのまま繰り返し使う

- ・長く使用できるものを買って、壊れたら修理する。
- ・不要になったら別の使い方を考える。
- ・欲しい人に譲る (リサイクル家具の収集やフリーマーケットも利用)
- ・繰り返し使用可能な容器の商品を選ぶ。

3 Recycle（リサイクル）：再生利用

■もう一度材料として使う

- ・正しく分別し、資源ごみとして出す。
- ・店舗などに設置されている回収ボックスを積極的に利用する。
- ・リサイクル活動を積極的に推進するため、リサイクル品を購入する。

以上